

研究室 からの メッセージ 179

Data (2021年5月現在)

所在地 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡787-2
スタッフ 奥野みどり (教授),
勅使川原洋子 (講師), 橋本いずみ (講師)
URL www.shoken-gakuen.ac.jp

左から、橋本、奥野、勅使川原



群馬医療福祉大学看護学部看護学科 公衆衛生看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

大学の礎は、1449 (宝徳元) 年の長尾景仲 (昌賢) の居城の学問所の誕生です。学問所の教育方針を「精神の滋養に重きを置く」とし、修己治人を説きました。この学問所の教学を伝承し、「己に克って礼を復む」とする「仁」が本学建学の精神であり、教育理念は「知行合一」(社会への寄与) としています。

2002 (平成 14) 年に大学を開設、2010 (平成 22) 年に看護学部を設置し、現在に至っています。看護学部では、看護師、保健師 (選択制) の資格取得、養護教諭一種の取得が可能です。

Education

どのような教育をしていますか？

2 年次の「地域看護学概論」「地域看護活動論」は学部の必修科目とし、地域の視点を持ち生活者を支える看護職を育成しています。

選択制の 3 年前期からは、地域診断や家庭訪問、健康教育などの実践的な演習を交えた「公衆衛生看護学活動論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業を展開しています。

4 年次には、「公衆衛生看護学実習Ⅰ (市町村・保健所)」において、地域踏査、地域全体の地域診断から健康課題を検討します。さらに、健康課題解決のための健康教育のテーマを選定、実施にまでつなげる実習を行います。また、「公衆衛生看護学実

習Ⅱ・Ⅲ」では、産業と学校の場における保健活動を学ぶ実習も行います。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は、保健師経験から母子保健、成人保健、精神保健、感染症対策等のそれぞれの専門性を生かした研究に取り組んでいます。

具体的には、「乳幼児期の発達障害の早期発見・支援に関する研究」「群馬県内精神障がい者の通所施設における新型コロナウイルス感染症予防対策」「40 歳未満の労働者の健康診断の結果の活用の実態に関する研究」等です。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

本学の保健師教育は、群馬県内の 2 保健所および 4 保健福祉事務所、8 市町村の協力を得て行っています。群馬県と群馬県内 7 大学の保健師教育機関と実習施設指導者との打ち合わせ会議、研修会等を開催し、教育機関と実習施設が協働し、実習のさらなる充実を目指しています。

また、本学教員の研究教育活動を通して、県内市町村の乳幼児健診における発達障害の早期発見支援のための研修会講師や市町村支援を継続的に実施する中で、健診マニュアルの動画作成など、県との協働による取り組みを実践しています。また、群馬県内新任保健師研修において、面接技術について担当するなど、現任者教育にも取り組んでいます。

ひとこと

本学の教員は、群馬県内の保健師さん方と研修や市町村支援等の地域貢献を通して常に交流を図っております。学生も実習施設等の専門職種の方々と、連携が取れる状況にあります。今後は卒後教育を通して、さらに地域とつながりながら、教育や研究に取り組んでいきたいと考えております。

奥野

あなたの 研究室を 紹介して ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室 (保健師教育に関わる講座・分野・領域) を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院「保健師ジャーナル」編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@gaku-shoin.co.jp